

2021 年 5 月 17 日

渋谷

レーザ安全性標準化部会及びレーザ安全性光通信専門部会からのリエゾン報告

2020 年度第 6 回部会(2020 年 2 月 25 日)以降、2020 年度第 3 回レーザ安全性標準化部会が 3 月 12 日に開催された。3 月 12 日に JIS C 6803 及び JIS C 6804 の議論、3 月 25 日に IEC 60825-2, Ed.4 以降の進め方の議論が行われた。4 月 26 日に第 1 回光通信専門部会が開催され、JIS C 6804 の議論が行われた。

なお、3 月 16 日付けで IEC 60825-2, Ed.4 が発行された。

1. 第 3 回レーザ安全性標準化部会(3 月 12 日)の結果概要

TC76/WG1 関連として、UV ランプに関する規格、WG1/WG8-joint 関連として、意図して顔に照射する機器の規格、WG4 関連として、レーザ以外の医療機器に関する規格の審議状況が説明された。また、JIS C 6803 改正の準備状況が説明された。

2. 3 月 12 日の議論

JIS C 6803 改正(2020B 区分)に関する JIS 作成チェックシートの作成、原稿修正の方法、JIS C 6804 改正(2020D 区分)の原稿作成の方法を議論した。

3. 3 月 25 日の議論

IEC 60825-2, Ed.4 以降の進め方を議論した。2020 年 9 月の WG5 で、10 を超える改訂項目が提案されたが結論は出さなかった。今回、主に、拡散光源単体機器のレーザ安全クラスの盛り込み、要求事項を前に移動する箇条構成変更、コア拡大光コネクタの追記などの必要性が議論された。海外メンバに対し、PowerPoint 形式で改訂点の提案を募ることが合意された。

SC86C/WG4 で提案される予定の IEC TR 62572-5「光トランシーバのレーザ安全クラスの計算方法論」について、原稿の確認を行うことが合意された。その後、SMF に対するクラスの計算に関するコメントが寄せられたため、PL に情報展開された。

4. 第 1 回光通信専門部会(4 月 26 日)の議論

JIS C 6804 の英和対訳原稿に対するコメントが収集され、それに対する対応案が説明され、議論された。今後、JIS 案修正を行い、メンバで再確認し、テンプレート化、様式調整へ進める。

【文書審議状況】

TC76/WG5 及び対応 JIS 文書状況

IEC PJ numbers, Titles and status	JIS 番号及び状況
IEC 60825-2 Safety of laser products - Part 2: Safety of optical fibre communication systems (OFCS) Ed.3.2: ISH2, 2018-06-26 Ed.4: RR: 2013-06, CD: 2017-07-21, 2CD: 2018-04-27, CDV: 2019-05-10, FDIS: 2020-10-30, IS: 2021-03-16 PL: 森	JIS C 6803: 2013, レーザ製品の安全－光ファイバ通信システムの安全 IEC 60825-2, Ed.3.2: 2010 (IDT) 対応国際規格の Ed.4 に対する JIS 改正を 2020B 区分で応募。
IEC 60825-12 Safety of laser products - Part 12: Safety of free space optical communication systems used for transmission of information Ed.2 2019-02-08 Ed.3 RR: 2019-06-28, CD: 2019-07-05, 2CD: 2020-05-15 PL: 鮫島	JIS C 6804: 2008, レーザ製品の安全－情報伝送のための光無線通信システムの安全 IEC 60825-12, Ed.1: 2005 (IDT) 対応国際規格の Ed.2 に対する JIS 改正を 2020D で応募。
IEC TR 60825-17, Ed.2 Safety of laser products - Part 17: Safety aspects for use of passive optical components and optical cables in high power optical fibre communication systems Pub: 2015-10	なし

以 上